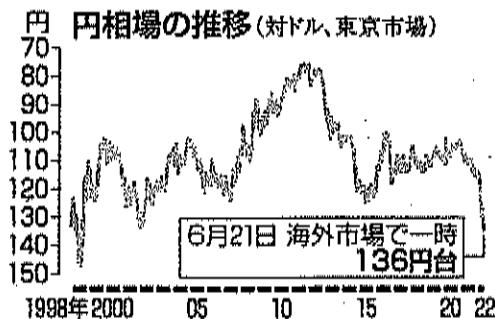


6/22 36.24



6月21日 海外市場で一時
136円台

【ヨーローク、ロンドン共同】隈本友祐、高毛篤史
21日の外国為替市場の

円安進行 136円台

6月の下落幅7円超

円相場は急落し、一時1ドル=136円30銭近辺を付けた。1998年10月以来、約24年ぶりの円安ドル高水準を更新した。日米の金利差拡大を見込んだ円売りドル買いが進んだ。輸入品のさらなる値上げにつながる可能性がある。

日銀が大規模な金融緩和策を維持する一方、米連邦準備制度理事会(FRB)は積極的に金融引き締めを進める方針を示し、金融政策の指向性の違いが鮮明にな

りた。6月の円の対ドル下落幅は7円を超えており、短期的な売買で稼ぐうどする投機筋も流入して円売りに拍車がかかっている。

ニヨーヨーク市場の21日午前8時半現在は、前週末比1ドル=136円05銭を付けた。ユーロは1ユーロ=1・62円72銭。

21日は米国が祝日明けと

なり、日銀が17日に大規模な金融緩和の維持を決めたこ

とが改めて意識され、円売りドル買いが広がった。FRBはインフレ抑制のために、日に通常の3倍となる0・75%の大額利上げを決めており、パウエル議長は7月下旬の次回会合でも0・5%か0・75%の大額利上げを連続実施するとの見方を示した。

午前8時半現在は、前週末比1ドル=136円05銭を付けた。ユーロは1ユーロ=1・62円72銭。

一時1ドル=136円台を付けた円相場を示すモニター=21日午後、東京・東新橋

